

**製品名: COL19A1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09176**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	120kDa

**抗原情報**

遺伝子名	COL19A1
別名	COL19A1; Collagen alpha-1(XIX) chain; Collagen alpha-1(Y) chain
遺伝子 ID	1310.0
SwissProt ID	Q14993
免疫原	抗血清はヒトコラーゲン XIX $\alpha$ 1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 421-470

**背景**

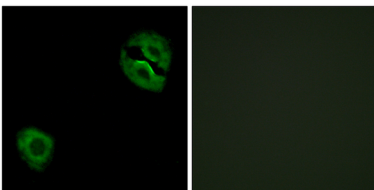
この遺伝子は、FACIT コラーゲンファミリー（断続的ならせん構造を持つ原線維関連コラーゲン）に属する XIX 型コラーゲンの  $\alpha$  鎖

をコードしています。このコラーゲンの機能は不明ですが、このコラーゲンファミリーの他のメンバーは、I型やII型などの原線維形成コラーゲンと共存し、細胞外マトリックスの完全性を維持する役割を果たしています。この遺伝子から生成される転写産物には、非常に大きな3' UTRが存在し、その完全な配列は未だ決定されていません。[RefSeq 提供、2008年7月],domain:三重らせん構造における多数の断続により、この分子は弾性または柔軟性のいずれかの形態をとる可能性があります。、function:原線維と他の細胞外マトリックス分子との間の架橋として機能する可能性があります。発達中の食道における骨格筋形成に関与しています。細胞周囲マトリックスまたは括約筋平滑筋の組織化に役割を果たす可能性がある。、PTM:トリペプチド繰り返し単位(G-X-Y)の3番目の位置にあるプロリンは、一部またはすべての鎖で水酸化されている。、類似性:線維関連コラーゲン(FACIT)ファミリーに属します。、類似性:1つのTSP N末端(TSPN)ドメインを含みます。、サブユニット:オリゴマー。ジスルフィド結合。、組織特異性:臍帯の血管、神経、間葉、および一部の上皮基底膜領域に局在します。、

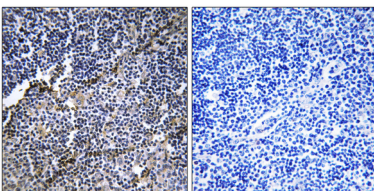
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



コラーゲン XIX $\alpha$ 1 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



コラーゲン XIX $\alpha$ 1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胸腺組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。